



学校評価アンケートについて

平素は本校教育にご理解とご協力を賜り、ありがとうございます。

3学期も残りひと月ほどとなりましたが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大状況が心配されるところです。引き続き感染防止対策を講じながら年度末に向けて取組を進めてまいりたいと思います。昨年12月には「学校評価アンケート」にご協力いただき、ありがとうございます。結果については職員一同で共有し、より良いあすか野小学校の教育を創造するために反映させていきたいと考えています。集計結果については、裏面にも掲載させていただいております。

児童				保護者			
番号	内容	A+B %	増減	番号	内容	A+B %	増減
①	先生や友だちに自分から進んであいさつをしている。	86	- 5	①	子どもたちは、友だち、先生や地域の方たちに自分から進んであいさつをしている。	58	- 2
②	廊下は走らず、右側通行ができています。	74	± 0	②	子どもたちは、正しい歩行の仕方を身に付け、交通ルールを守って登下校している。	80	± 0
③	登下校の時、交通ルールを守って歩いている。	93	+ 3				
④	体を動かして遊んだり運動したりすることが楽しい。	84	- 5	③	子どもたちは、遊びや運動を通して体を動かす楽しさを実感し、進んで運動に取り組んでいる。	79	+ 1
⑤	自分の考えをもって進んで行動しようとしている。	84	+ 6	④	子どもたちは、自分の意思をもって主体的に行動しようとしている。	73	± 0
⑩	何事も最後までやり通すことができた。	73	- 9				
⑥	友だちがこまっている時に声をかけたり助けたりしている。	85	- 2	⑤	子どもたちは、お互いの違いを認め合い、一人ひとりの存在や思いを大切に仲間づくりをしている。	84	+ 4
⑦	みんなから大切にされ、安心して学校生活を送ることができている。	83	- 3				
⑧	自分にはよいところや得意なことがある。	76	-13				
⑨	話し合い活動で進んで自分の意見を言うことができています。	74	± 0	⑥	話し合い活動を通して子ども同士のコミュニケーション力が育っている。	76	- 2
⑪	地域の人やゲストティーチャーの方としっかり学習できた。	86	+11	⑦	子どもたちは、ゲストティーチャーや体験学習からよく学んでいる。	80	+ 4

アンケート結果の保護者の皆様の評価は、7項目中4項目において、A「そう思う」、B「おおむねそう思う」と回答いただいた割合がおおむね80%と高く、肯定的な評価をいただきました。しかし、他の項目を見ると80%に達していない項目や、その中でも昨年度までの比較でマイナス傾向にある項目があり、しっかり目を向けていく必要があります。特に①「あいさつ」の項目は58%で全項目の中でも唯一60%を切っており、一昨年度の67%、昨年度の60%から年々低下しています。一方、児童の方は86%で保護者の評価とギャップがありますが、昨年度から5%減で共にマイナス傾向で課題項目と言えます。地域の方に直接お話を伺うと「子どもたちがよくあいさつしてくれます。」と笑顔でお話してくださる方と「子どもたちからあまりあいさつが返ってきません。」とおっしゃる方とで意見が分かれます。主観ですが、朝、登校してくる子どもたちの様子を見た時に、場所によってあいさつの度合いに差があると感じます。例えば、毎朝子どもたちと出会う校門前では、あいさつをよく交わしていると思います。校区まで足をのびた時に、すれちがう場面では元気にあいさつしてくれますが、横断歩道付近であいさつが少なくなります。信号待ちで集団ができやすいところですが、子どもたちの数に反比例してあいさつが少なくなると感じます。ただここは、子どもたちの登下校の際に、最もお世話になっている見守りボランティアの方々が立ってくださっている場所です。寒い中でも長時間、みんなの安全を見守ってくださっているボランティアの方には、感謝の気持ちを持ってあいさつをしてほしいと思っています。これについては、校長より全校朝会でも子どもたちに話をさせていただきました。あいさつは習慣ですので、ご家庭でもお声掛けいただいて学校、家庭、地域で連携し、習慣化を図っていかれたらと思います。

評価の高かった項目としては、児童の回答で「登下校の時、交通ルールを守って歩いている。」が93%（昨年度より+3%）となっています。登下校に際しては、見守りボランティアの方々に大変お世話になり、安全が確保され、この数字につながっていることに感謝しております。保護者の回答も80%の評価をいただいておりますが、とび出したり、走ったりする危ない様子の報告も受けております。身体の安全や命に関わることなので、まだまだ、子どもたちの意識を高めていく必要があります。

「仲間づくり」に関しては児童、保護者、教職員とも80%以上の評価となっていますが、とても気になる項目として⑧の児童の回答「自分にはよいところや得意なことがある。」が76%で、昨年度より13%減で落ち込みが激しくなっています。長期化するコロナ禍において人との交流や活躍の機会が減っていることで、自尊感情の低下は全国的な傾向となっています。お互いに認め合い励まし合う集団作りや子どもたちに自信を持たせるかかわりが必要になってきます。

「ゲストティーチャー、体験学習」に関しては、児童、保護者、教職員ともにプラス評価となっています。今年度は、1学期の後半と2学期の後半にコロナ感染が一定落ち着いたこともあり、体験学習の機会が昨年度より増えたことによるものと思われます。これについては、保護者アンケートで「来年度取り組んだらよいと思うもの」の1位にあがっており、積極的な取組が可能となるようコロナ収束を強く願います。

【主な予定】

- 3月18日(金) 令和3年度卒業式
- 24日(木) 修了式
- 4月6日(水) 始業式
- 11日(月) 令和4年度入学式

